

新年のごあいさつ



南越前町長

川野 順万



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

日頃は町政推進にあたり、温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚くお礼を申し上げます。

早いもので平成17年1月に南越前町が誕生してから12年が経過いたしました。「干支」で例えますと一回りしたところですが、

私事になりますが、2月12日をもって二期八年間の任期を終了し、町長職を退くこといたしました。

思い返しますと新町発足時には、町長職務執行者として、増澤町長就任後は助役・副町長として重責を預かり、平成21年2月には、町民の皆様から力強いご支援をいただき、微力ではございましたが、南越前町発展のために「意奮闘、全力を尽くして町政を担わせていただきます」。

この間、合併以来、悲願であった国道305号ホノケ山トンネルが開通し、

物心共に町内での交流が促進される中、集落振興の目玉として立ち上げた山海里集落支援事業を強力にすすめたほか、町内小中学校の耐震化、町内全域をカバーする同報系のデジタル防災行政無線を整備、今庄・河野両地区に民間の地域密着型介護サービス施設を誘致、南条地区に既存の二つの保育所と一つの幼稚園を統合し新たに南条こども園を新設開園いたしました。また、歴史文化などの地域資源を活用しながら住民自らが地域の魅力を創出するため、今庄宿プロジェクト事業と北前船歴史空間再生プロジェクト事業に積極的に取り組んでまいりました。加えて国が進める地方創生・人口減少対策では、南条サービスエリアにおける観光拠点事業、町ケーブルテレビ事業の更新と併せた超高速大容量通信環境の整備、移住定住を進めるための宅地分譲や定住促進のための制度の創設など重点事業を立てて取り組んでまいりました。

平成26年度に策定いたしました第二次南越前町総合計画では、五つの基本

目標に加え「効率的な行財政運営によるまちづくり」を新設し、行財政改革にも本腰で取り組み、今後益々厳しさが予想される行財政運営にも対処してきたところです。

それでは、平成28年度の「五つのまちづくり事業」の具体的な事業の取組みと進捗状況についてご報告させていただきます。

まず、一つ目の「町民に優しいまちづくり」であります。障害の有無や年齢に関わらず、子どもから高齢者まで誰もがいつまでも地域で安心して暮らせる福祉サービスを積極的に展開し、平成29年度から開始する新たな介護予防・日常生活支援総合事業の準備を進めるとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子ども医療費にかかる一部負担金を無料とし完全無料化いたしました。

次に、二つ目の「安全安心して暮らせるまちづくり」であります。昨年度から整備を進めてまいりましたデジタル同報系の防災行政無線施設が昨年末完成し、緊急時や災害発生時での速やかで確実な情報伝達が可能となりました。

また、町ケーブルテレビ民営化と併せて福井ケーブルテレビ(株)により光ケーブルが整備され超高速大容量通信網が4月より供用開始されるほか、子どものインフルエンザ予防接種の一部助成、新ごみ処理施設建設にかかる立地地区および近隣地区との合意、道路関係では、冬期間の交通確保を図るため町道の消雪工事の実施、上平吹橋架け替えに伴う下部工事等を実施いたしております。

次に、三つ目の「活き活きと働けるまちづくり」であります。昨年4月から

今庄365スキー場を核とした鉢伏山一体施設について、民間の指定管理者による運営が始まり、雇用について地元住民優先で採用されているところです。ふるさと納税では、魅力ある地場産品を揃えた返礼品を充実し民間のポータルサイトを活用した募集を始めたことにより数千万円を超える寄附が集まっております。また、山海里集落支援事業、多面的機能支払交付金制度、地域ぐるみの鳥獣害防止活動、木材産業の活性化、漁港施設の長寿命化を図っております。

次に四つ目の「人と文化を育むまちづくり」であります。次代を担う子どもたちの育成支援制度を開始し、学校ICT機器の整備を図っております。人口減少と少子化に伴う児童生徒数の減少に対応するため、小中学校再編計画の検討委員会を立ち上げました。文化面では、国の重要文化財に指定された中村家の保存活用を進め、今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた取組みにかかりました。

最後に五つ目の「住民主体のまちづくり」であります。男女共同参画をさらに推し進め、地域活動の担い手である社会教育団体の育成を図っております。以上が、五つのまちづくり事業の進捗状況であります。

これまで、目標を掲げ邁進してきましたのも、町民の皆様のご理解と温かいご支援の賜物であり、心から感謝を申し上げます。八年間本当にありがとうございました。

最後になりますが、町民の皆様が今年一年間のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

年頭にあたり



南越前町議会議長

生駒 一義

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしく新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日ごろから皆様には、議会に對しまして温かいご支援とご協力、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

本年もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

南越前町が誕生してから13年目を迎えました。誕生した年も酉年であり、大きく羽ばたいた年でありました。

今年も酉年でありますので、大きく羽ばたき、飛躍する年であることを

願っております。

昨年は、4月に熊本地震があり、震度6強で多くの方々が犠牲になりました。また、鳥取でも地震がありました。

日本は地震国であり、全国いたる所で発生しております。

さらに、多くの台風被害も発生し、被害が少ないとされている北海道や東北地方で大きな被害を与えました。

いつ、どこでどんな災害が発生するか分からない時代になってきております。南越前町におきましても地域住民

を災害から守るために「より安全に安心して暮らせる地域社会の形成」に努

めていかねばと考えております。

一方、明るいニュースではリオデジャネイロでオリンピック、パラリンピックが開催され、国民に多くの感動を与えました。当町からも青木千佳選手が出場し健闘されて、我々町民に感動を届けてくれました。次回の東京大会に期待しているところでございます。

また、北陸新幹線の敦賀開業が平成35年春に迫る中、大阪延伸については「小浜・京都」ルートの早期着工に期待するものです。

さて、南越前町を取り巻く環境は厳しく、様々な問題を抱えております。人口減少問題をはじめ、当町の基幹産業であります農林水産業、観光業の充実、子育て支援対策、教育の充実、空き家対策、防災対策、道路整備等々の問題が山積しております。

これらの諸問題について議会といたしましても、地域住民の声を十分反映させて、地域の活性化に繋げていかなければと痛感いたしているところでござ

じます。

議会に与えられた任務といたしまして、政策の最終決定権（予算、契約、条例等）の議決権が付与されております。その上、議決された案件が執行機関において適法・適正に、しかも、公平・効率的に執行されているかどうかを批判し、住民の立場で見守っていくことが求められております。これらの任務をしっかりと果たし、住民の負託に応えていく所存でございますので、町民の皆様のごより一層のご支援とご協力の程、切にお願い申し上げます。

新しき年が町民の皆様にとりまして、良き年でありますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。